

今年度事業名	街なか賑わいづくり振興事業	事業コード 401
来年度事業名	街なか賑わいづくり振興事業	

総合戦略体系	263	若者が住みたくなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	街なか観光の推進
--------	-----	----------------	---------------	----------

PLAN(計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	中心市街地の活性化および事業者の人材育成と経営者の意識改革や商店街等各種商業団体の育成を図るとともに、本市が進めるSDGsの普及を推進する。				
	概要	賑わい・憩い・癒しにあふれる個性と特徴のある街づくりのため、街なかの賑わいを創出し、事業者の人材育成、経営者の意識改革の促進、各種商業団体の活性化や周辺商業の振興を図るために商店街の活性化やイメージアップにかかる事業に対する支援を行う。				
	コロナ対応の取組	(今年度) コロナ禍により市内事業者が大きな影響を受けたことで、予定していた賑わいづくり事業やSDGs推進事業の大半は変更や中止。(来年度) 令和3年度は集客イベントのみに頼らない振興事業を立案・展開した事業者支援を行っていく。				
法令根拠		実施形態	現在	補助金等交付		
			内容	商店街等各種商業団体に対して補助金等交付事務ならびに進捗管理業務		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
事業者自らが提案し取り組む活性化事業数	事業	目標値					
		実績値					
計算根拠	事業者からの新規提案事業数	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
事業者自らが提案し取り組む活性化事業数	事業	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	1		
計算根拠	事業者からの新規提案事業数	達成率	100	100	100		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.25
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由	
---------------	--

DO(実施)

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	9,975	6,902	6,166	4,428
決算額	9,133	6,806	6,040	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	補助費等

No	款	項	目	事業	R2年度事業名		予算書額	うち事業額(千円)
1	7	1	2	205	街なか賑わいづくり振興事業費		7,926	4,428
2								
3								
4								
5以降								
							合計	4,428

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 13 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
 ある ない

効率性
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。
 ある ない

有効性
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。
 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 4 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ 統合

取組内容
商店街対象の事業では、団体が数年に渡って実施してきた事業を整理し、収益性を高めて自走できる仕組みづくりを検討する。また、令和2、3年度の期間は本市が掲げるSDGs普及推進のため、商店街組織が取り組む新たなSDGs推進企画・事業について、スタートアップとして重点的な支援を行う。商業者対象の事業では、空き店舗対策事業(家賃補助)が終了するため、物件所有者と利活用を促す交渉を継続して実施する。令和2年度より「おもてなしスキルアップ事業(事業コード3445)」を統合。

前年度の実績
(商店街対象事業)
10団体の年間計画に基づいた賑わい創出企画を支援するとともに、2年間限定のSDGs推進枠や事業を継続できる仕組みづくりについて検討を重ねた。
(商業者対象事業)
4件の空き店舗対策事業(家賃補助)を実施した。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
(商店街対象事業)
集客を目的とする賑わい創出企画の支援が主だったものであるため、コロナ影響下では企画の開催が限定され、実施しづらいことが挙げられる。
(商業者対象事業)
空き店舗対策として店舗のテナント誘致や改修事業が挙げられるが、建築基準法や消防法の観点から商店街の物件は事業費が高騰することが懸念される。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
(商店街対象事業)
団体の成果指標を集客数から経済効果に変更し、イベントへの支援内容を見直すなど、補助事業費に対してどのような効果があるのかを明確にし、将来的には団体の企画が自主開催できるよう促す。また、新しい生活様式を踏まえ、特定日に集客をはかるイベント等は補助対象とせず、クーポン発行事業など一定期間の効果が見込める事業を補助対象とするよう改善していく。
(商業者対象事業)
家賃補助を活用した空き店舗対策事業は令和2年度に終了するが、物件所有者との利活用を促す交渉は継続する。

方向性⇒ 内容縮小

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

今年 事業名 市民役事業にかかる額(単位千円):

来年度 事業名 市民役事業にかかる額(単位千円):

取組可能な事業の詳細⇒

今年度 事業名	つつじまつり開催事業	事業コード 1122
来年度 事業名	つつじまつり開催事業	

総合戦略 体系	263	若者が住みたいなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	街なか観光の推進
------------	-----	----------------	---------------	----------

PLAN (計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	日本海側随一である約5万株(11種類)のつつじを誇る“日本の歴史公園百選 西山公園”を中心とした「つつじ」のイベントを開催し、県内外から観光客の定着を図るとともに、鯖江市の観光振興および地場産業の活性化に資する。				
	概要	つつじまつり実行委員会を組織し、西山公園のつつじを観光素材とした「つつじまつり」を5月のGWに開催する。開催にあたっては、西山公園のつつじを活かした企画をはじめ、鯖江市の観光PRや物産販売、地場産業の情報発信を行う。				
	コロナ対応 の取組	新型コロナウイルスの感染状況は減少傾向にあるが、変異株の全国的な拡大など感染終息の見通しがたたないことや一般市民等へのワクチン接種開始時期が不透明であることなどから、まだまだ感染拡大が予断を許さない状況である。つつじまつりの開催にあたっては、全ての来場者の検温や手指消毒、来場者の特定、1m以上の人と人の間隔を空けたソーシャルディスタンスの確保といった安全の担保ができない状況であることから、令和2年度および令和3年度の開催は中止することとなった。				
法令 根拠		実施 形態	現在 補助金等交付 内 商工会議所内につつじまつり実行委員会を設置し、商工会議所、観光協会および市が事務局として委員会に加わり、それぞれ負担金を支出して開催する。			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
つつじまつり来場者数	人	目標値				170,000	150,000
		実績値					
計算 根拠	※H25・H26 会期期間 2日 H27～ 会期期間 3日	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
つつじまつり来場者数	人	目標値	200,000	200,000	180,000		
		実績値	202,000	188,000	162,000		
計算 根拠	※H25・H26 会期期間 2日 H27～ 会期期間 3日	達成率	101	94	90		
		実数値					

ランク A B B

事業 要員	正規職員	0.25
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク
B、Cの
理由
天候不順によりつつじの開花のピークがずれたため、来場者数が想定より少なくなった。

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	6,200	6,200	6,200	6,200
決算額	6,200	6,200	6,200	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	3	204	つつじまつり開催事業費	6,265	6,200	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	6,200

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 13 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ 維持

取組内容
つつじまつりの更なる魅力向上を図るため、検討委員会から提案のあった意見(つつじに特化した企画の実施や飲食の開発、滞在しやすい環境づくり等)をもとに、つつじまつり実行委員会で検討し、来園者の満足度を更に高める方策や効果的な広報、SDGsを意識した取り組み等を実施する。

前年度の実績
日本海側唯一である約5万株のつつじを誇る西山公園を中心とした集客イベントを開催し、県内外から観光客の誘客を図り、観光振興ならびに商店街、地場産業の活性化に取り組んだ。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
さらに魅力的な事業とするため、マンネリ化した企画の見直しを進めるべく外部からの意見を取り入れ、つつじに特化した企画や飲食の開発などに向け取り組んだが、新型コロナウイルスの拡大により、実行委員会の主催する全てのイベントが中止となった。今後はオンラインの活用や密集・密接を避けた事業を検討することが必要と考えられる。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
新型コロナウイルスの感染状況は減少傾向にあるが、変異株の全国的な拡大など感染終息の見通しがたないことや一般市民等へのワクチン接種開始時期が不透明であることなどから、まだまだ感染拡大が予断を許さない状況である。つつじまつりの開催にあたっては、全ての来場者の検温や手指消毒、来場者の特定、1m以上の人と人の間隔を空けたソーシャルディスタンスの確保といった安全の担保ができない状況であることから、来年度の開催は中止することとなった。なお、来年度は今後の開催に向けて、ランディングページの制作や写真、動画などの広報素材をストックするほか、GW期間中の来園者の安全確保のため、警備員の配置や臨時駐車場の設置は実施する。

方向性⇒ 内容縮小

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):
来年度 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):

今年度 事業名	観光協会補助事業	事業コード 1123
来年度 事業名	観光協会補助事業	

総合戦略 体系	263	若者が住みたいなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	街なか観光の推進
------------	-----	----------------	---------------	----------

PLAN (計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	まちなか観光、産業観光等、本市の特色ある観光振興を図る。				
	概要	鯖江観光協会の運営に補助する。				
	コロナ対応 の取組	(今年度)(来年度)				
法令 根拠		実施 形態	現在	補助金等交付		
			内容	観光施設の整備、観光協会の運営等に助成し、観光の振興に寄与する。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
観光客入込数	人	目標値					
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
観光客入込数	人	目標値	1,750,000	1,750,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000
		実績値	1,736,592	1,886,032	1,770,632		
計算 根拠		達成率	99.2	107.8	98.4		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	10

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	9,320	10,889	9,417	9,400
決算額	9,020	10,889	9,417	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	3	602	観光協会等補助金	9,400	9,400	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	9,400

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 13 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ **維持**

取組内容
 鯖江の産業観光や着地型旅行商品の開発のために(一社)鯖江観光協会が行う事業について運営補助を行う。市内の観光情報を集約し、雑誌、WEB媒体等に対する情報発信を一手に担うことで、鯖江の観光窓口としての機能を強化する。また、InstagramなどSNSを活用した魅力発信事業に取り組み、「映える写真」を活用したポスターを制作し、PRするなど年間を通した誘客を目指すとともに、土産物の販売売上上の拡大と収益性向上を目指し、組織の収益構造の強化に取り組む。

前年度の実績
 鯖江の産業観光やまちなか観光活性化のために、(一社)鯖江観光協会が行う事業について運営補助を行った。「桜周遊バスツアー」や「親子で鯖江の魅力体験ツアー」など、着地型観光商品の企画・販売を行い、市内外に鯖江の観光をPRするほか、SNSを活用したフォトコンテストを実施するなど、四季折々の西山公園の魅力発信に取り組んだ。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
 市内の観光情報を集約し、雑誌、WEB媒体等に対する情報発信を一手に担い、鯖江の観光窓口としての機能強化については、今以上に取り組む余地がある。魅力発信事業については従来の紙媒体でのポスターだけではなく、デジタルサイネージやWEB広告等の新たな手法により効果的にPRできる方策を検討する必要がある。また、今年度は越前漆器と越前焼のコラボ商品を開発・販売し、伝統産業への興味の喚起や実際に産地へ足を運ぶきっかけ作りを行ったが、今後も同様に、集客イベント以外での鯖江市のプロモーションにも取り組む。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
 観光窓口としての機能強化を目指すため、紙媒体だけに頼らず、SNSやWEBを活用した手法による主体的な情報発信の強化を図るとともに、組織としての収益構造の強化を目指し、不要な経費の削減と土産物販売や収益の増加に向け積極的に取り組むよう促していく。

方向性⇒ **事務改善**

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	学生との連携によるうるしの里活性化事業(河和田アートキャンプ)	事業コード 2278
来年度 事業名		

総合戦略 体系	232	若者が住みたいなるまちの創造	河和田キャンパス(創造産地)の構築	交流人口増加への取組み
------------	-----	----------------	-------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	にぎわい推進室		開始年度	2005	終了年度	2020
	目的	伝統工芸である越前漆器や職人、豊かな自然などの地域資源を、都市にすむ大学生達の外からの視線で再確認しながら若い感性で創意工夫をこらし、地域住民との協働で、越前漆器の産地である「うるしの里」のまちづくりを行う。					
	概要	福井豪雨をきっかけに知り合った京都や福井の大学生達が、夏休みを利用して地域に滞在(キャンプ)しながら「うるしの里」の魅力に直接触れ、学生の視線や感性で伝統工芸や自然、環境などの地域資源を活かし、新しい風を取り入れたまちづくりを地域と協働で取り組む。					
	コロナ対応 の取組	(今年度)地域として大学生を受け入れることが困難となり、事業は全面的に中止となった。(来年度)河和田アートキャンプ事業は、県外からの学生が集団生活を行いながら1か月間にわたって活動するため、感染リスクが高く、新型コロナウイルスが終息しない限り、現状のままでの実施は困難である。令和3年度においては、現役学生の長期受入れを取り止め、過去の参加者(OB・OG)と漆器・眼鏡職人や地域住民との交流を軸とした事業への組替えを検討する。					
法令 根拠		実施 形態	現在	補助金等交付			
			内容				

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
参加学生数	人	目標値				60	-
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
参加学生数	人	目標値	80	60	60		
		実績値	60	60	62		
計算 根拠		達成率	75	100	103		
		実数値					

ランク	C	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.3
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	1,000	1,100	1,100	0
決算額	1,000	1,100	1,100	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	210	学生連携事業費	9,091	0	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計
		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 10 / 16

②事務改善 評価項目

効 率 性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有 効 性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
	今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 4 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ 維持

取組内容
活動スペースの面から参加数は60名程度を見込み、学生の視線や感性を生かしつつ、地域の要望を取り入れたプロジェクトを目指す。また、地域の方や職人の知恵や技術を学ぶとともに、地域で提供された廃材を活用した制作活動や、地元小学校や学童での授業およびワークショップを開催する。今後も受け入れる地元住民の理解、協力が得られるよう学生の取り組みについて、広報誌やホームページで情報発信する。

前年度の実績
令和元年度は62名の県外大学生が49日間に渡り、鯖江市河和田地区を中心にアートやまちづくりに取り組んだ。特に9月20日(土)、21日(日)にかけては河和田地区の住民や職人とともに「中道アート2019」を開催。学生達が制作したアート作品を展示するとともに、祭りを盛り上げるスタッフとしても参加し、より親近感のある関係性を育む事で、本市における関係人口創出にもつなげる事業となった。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
令和2年度は新型コロナウイルスの拡大により県外からの学生を受け入れることができなかったため、事業は中止となった。直接的な人的交流を事業目的とするため、ソーシャルディスタンス対策や飛沫感染防止対策は必須であるが、新型コロナウイルスの状況が大幅に改善しない限り、今後の事業実施は困難であると思われる。また、地域住民、団体との関係性も事業開始当初よりは希薄となっており、学生受け入れをメインとした事業からの組みなおしを検討する必要がある。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
平成16年福井豪雨の復興支援から始まった河和田アートキャンプでは、これまでに多くの若者が移住してきており地域の活性化と移住政策に大きく貢献してきた。こうした中、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、現役学生の長期受入れが困難となったことも受け、16年目を大きな節目として、今後は過去の参加者(OB・OG)と漆器・眼鏡職人や地域住民との交流を軸とした事業へと組替えるため、当該事業は廃止とする。なお、後継事業については、地域おこし協力隊の業務として統合して実施する。

方向性⇒ 廃止・休止

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名 度	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年 事業名 度	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	若者による地域活性化推進事業	事業コード 2653
来年度 事業名	若者による地域活性化推進事業	

総合戦略 体系	211	若者が住みたいなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大 で多様性があるまち~	学生連携事業
------------	-----	----------------	-----------------------------------	--------

PLAN (計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	・地域の将来を担う若者たちが連携し、地域において自主的に活動する。 ・市内外の若者のアイデアと行動力を活かしたまちづくりを推進し、地域の活性化を図る。				
	概要	全国の学生(大学生、大学院生、高専生)に参加者を募り、選考を通過した18人の学生が鯖江市に集い、12人の地元高校生と共に6つのチームを組む(1チーム大学生3名+高校生2名)。2泊3日の合宿を行いながら、未来の鯖江を創造するため、デザインシンキングやプロトタイプを作るなどし、何度も市民にインタビューを行いながらプランを作成。住みたい鯖江、創りたい鯖江を合宿最終日にプレゼンテーションし、提案後は実現に向けて小さくてもいいので行動の一步を踏み出す。				
	コロナ対応 の取組	(今年度)様々な地域イベントが中止になっている中、これまで築き上げてきた学生同士のつながりを継続するために、各種会議用ツール等を使用してオンラインで開催した。それに伴い、参加人数を30人から18人に変更。市長講義も録画して動画サイトを通じて配信。発表会や審査員による講評もオンライン上でやり、すべての日程をオンラインだけで完結し、実施した。(来年度)コロナウイルスの感染状況によっては、以前のように、鯖江に集結する合宿形式での実施も検討していきたいが、感染拡大が続くようであれば、令和3年度においても令和2年度同様にオンラインでの開催も考えていく。				
法令 根拠	なし	実施 形態	現在 民間等委託(全部)			
			内 地元大学生および過去の地域活性化プランコンテストの参加者が中心となって、地元住民や関係機関・団体と協働して実施する。			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
プレゼンテーション参加学生数	人	目標値				18	30
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
プレゼンテーション参加学生数	人	目標値	24	30	30		
		実績値	24	30	30		
計算 根拠		達成率	100	100	100		
		実数値					

ランク | A | A | A

事業要 員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	800	800	1,350	480
決算額	800	800	1,222	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	210	学生連携事業費	9,091	480	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	480

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 12 / 16

②事務改善 評価項目

効 率 性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有 効 性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
	今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 4 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ 維持

取組内容
例年、地域活性化プランコンテストの企画と運営は、様々な意見を取り入れながら改善が繰り返されており、参加学生の満足度も非常に高く、今後も継続して実施したい。
なお、提案内容の具現化に対するスタートを早くすることで、年度末に駆け込みで行いがちな具現化の計画実施を余裕を持って行うようにしたい。

前年度の実績
令和元年度は全国から鯖江を訪れた18名の大学生と地元高校生12名の総勢30名が6チームに分かれ、6つの地域活性化プランが提案された。これまでの実績に裏打ちされた企画と運営で参加学生の満足度も非常に高かった。
この6つの地域活性化プランのうち2つが具現化に向けて地元高校生を中心に活動しており、多方面からの協力も得て実現を目指していたが、コロナウイルスの影響により中断している。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
平成30年度から自分の住みたい鯖江を創造する「未来創造型」へと変更したことにより、提案内容の分野が広がったものの、過去の提案内容よりも質が低下したという反省点があり、令和2年度については、従来の「課題解決型」に戻すとともに、コロナ禍を踏まえてオンラインでの開催となった。実際に鯖江に来れないが故に、ZOOM等を駆使して鯖江市のことを事前学習できたことで、より鯖江市にあった提案がなされた。一方で、コロナ禍の中、実際に鯖江のまち、もの、人に触れることはできず、市内外の若者との交流と地域の活性化をどう図っていくかが課題である。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
提案型市民主役事業として、市主催の事業という位置づけのもとに開催してきた地域活性化プランコンテストは今年度で13回目を終え、紛れもなく学生連携によるまちづくりの一つの柱として成長し続けてきた。現在では、国や県等の後援だけでなく、民間企業等からの支援も増えてきており、市主催の事業というよりも受託団体である(特活)エル・コミュニティの自主事業として十分に確立されてきたものと考えられる。よって、実施主体を市から地域活性化プランコンテスト実行委員会へ移行し、委託から補助へと事務改善を図る。なお、事業の実施にあたっては、行政がサポートできる範囲で協力していくものとする。

今年度 方向性⇒ 事務改善

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

今年 事業名	(縮小)若者による地域活性化推進事業
年度	市民主役事業にかかる額(単位千円): 516
来年 事業名	若者による地域活性化推進事業
年度	市民主役事業にかかる額(単位千円):

取組可能な事業の詳細⇒

今年度 事業名	学生滞在型まちづくり活動支援事業	事業コード 2944
来年度 事業名	学生滞在型まちづくり活動支援事業	

総合戦略 体系	211	若者が住みたいなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大 で多様性があるまち~	学生連携事業
------------	-----	----------------	-----------------------------------	--------

PLAN (計画)	部署名	にぎわい推進室		開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	鯖江市に滞在し、まちづくりに関する調査・研究、スポーツ・学術研究等の合宿を行う学生のグループに対し、宿泊費の一部を助成し、滞在環境を整えることで、若い世代の呼び込みを図る。本市への滞在を通して地場産業や風土、人情に触れていただき、地域のPRを図るとともに、学生の若い感性による提案や提言を受け、まちづくりに生かしていく。					
	概要	鯖江市に滞在し、まちづくり等の調査、研究を行う学生のグループに対し、宿泊費の一部を助成する。 【提案型】まちづくりの研究を行い、市に対して提案、提言を行う。(1人泊あたり1,500円助成) 【合宿型】スポーツ・勉学等を行い、自己の体位・学力の向上に努める。(1人泊あたり1,000円助成) 【ゼミ合宿】ゼミにおいて研究テーマに本市に関する題材を取り上げる活動。(1人泊あたり1,500円助成)					
	コロナ対応 の取組	(今年度)制度は予算の削減を除いて制度内容自体には変更はないが、合宿を受け入れる宿泊施設は一部県外からの宿泊客を受け入れない期間があった。大学側からの指示もあり、合宿自体が自粛傾向にあつて、実績は1団体だけに留まった。(来年度)補助制度の変更は行わないが、コロナウイルスの感染状況によっては、合宿の実施にかかる学校側の許可も下りるかどうかが不透明であり、合宿補助制度の活用も減少するものと考えられるが、ワクチンの接種状況などの経過も見つつ、県外旅行会社への営業活動も再開し、団体の誘致を実施していく。					
法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(一部)			
			内	市として県へ補助金申請を伴う業務も含まれており、民間へ全部を委託することは不可能である。しかし、学生募集等の業務については、民間委託も可能と考える。			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
大学等への周知活動(HP掲載)回数	回	目標値				1	1
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
補助制度活用学生数	人泊	目標値				100	300
		実績値					
計算 根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
大学等への周知活動(HP掲載)回数	回	目標値	1	1	1		
		実績値	1	1	1		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
補助制度活用学生数	人泊	目標値	2,000	1,500	1,500		
		実績値	1,416	1,300	1,827		
計算 根拠		達成率	70.8	86.7	121.8		
		実数値					

ランク C B A

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	983	955	1,360	676
決算額	912	907	1,344	

会計	一般会計
事業タイプ	補助(県)事業
経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	7	1	2	210	学生連携事業費	9,091	676
2							
3							
4							
5以降							
						合計	676

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1	福井を学ぶ体験旅行推進事業補助金	334
2		
3		
4		
5以降		
合計		334

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 14 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 効率性 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 有効性 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 有効性 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	<p>合宿補助制度について、県外大学等へのチラシ送付、ホームページおよびfacebook等でPRするとともに、市内宿泊施設への制度周知・協力を依頼することにより学生合宿の誘致を促進する。また、合宿補助の要件として、ブログやSNSを活用した鯖江市のPRを行うことを必須としており、積極的な情報発信を促したい。さらに、ラボ-ゼカワダとの連携を強化し、学生の合宿場所としての活用をPRすることで補助制度利用者を増やし、交流人口増加を目指す。</p>
前年度の実績	<p>R1年度は河和田アートキャンプをはじめ、京英会、明治大学など多くの大学のゼミやサークルが鯖江で合宿を行い、過去最大の1827人が制度を利用した。チラシ等を送付して営業活動を行った旅行者を通じて鯖江を知り、合宿先を鯖江にしたサークルも多くあった。(16団体中10団体)</p>
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	<p>R1年度は多くの利用があったものの、地域交流費の申請を行った団体は16団体中7団体に留まっている。この地域交流活動の補助制度を情報発信し、鯖江を知る活動や地域の方との交流活動を増やすことで利用者を増やし、合宿の受入によって生じる関係人口の増加を目指す。 R2年度はコロナウイルスの影響により、受入を行った実績は8月現在0人である。</p>
実績と課題を踏まえた来年度の変更点	<p>今後の合宿の開催状況は不透明であり、自粛傾向は長引くのではないかとと思われるが、コロナ収束後を考え、地域交流活動に対する支援内容の周知を徹底することで、合宿に来た学生が少しでも鯖江の産業や地域住民と関わる状況を作っていく。また、スポーツ合宿やゼミ合宿の誘致だけでなく、少人数での教育旅行といった分野にも新たに取り組み、宿泊業者や旅行者との連携を図っていく。</p>
方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	実施	実施	実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	日中外国語大学と地域住民との「絆」交流促進事業	事業コード 3005
来年度 事業名		

総合戦略 体系	211	若者が住みたいなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大 で多様性があるまち~	学生連携事業
------------	-----	----------------	-----------------------------------	--------

PLAN (計画)	部署名	にぎわい推進室		開始年度	2012	終了年度	2020
	目的	日中交流学生団体「京英会」が主催する日中相互訪問プロジェクト~現地語でつなぐ絆~において、鯖江市日中友好協会と鯖江市民主役条例推進委員会の協力のもと、中国人学生や東京在住の学生に鯖江の豊かな自然や文化を紹介するとともに、地域住民との膝を交えた日中交流により、大都市圏だけでなく、中国社会での鯖江の知名度アップを図り、地域住民による日中友好の絆を構築する。					
	概要	北京外国語大学を中心とした中国人学生約15人と東京外国語大学を中心とした日本人学生約15人の日中の大学生計約30人が鯖江市に滞在するにあたり、地域交流にかかる支援を行う。					
	コロナ対応 の取組	(今年度)中国から日本への入国が制限されたことにより、日中交流学生団体「京英会」が主催する日中相互訪問プロジェクトが中止となったことを受け、同事業の実施を中止した。(来年度)渡航制限も続いており、実施の可能性が先行き不透明なため、令和2年度を持って事業を廃止する。					
法令 根拠		実施 形態	現在	民間等委託(全部)			
			内	提案型市民主役事業により、鯖江市日中友好協会や他の市民団体等の協力を得ながら、民間団体に委託して開催する。			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
日中外国語大学と地域住民との交流会開催数	回	目標値				3	3
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
交流会参加者数	人	目標値				50	15
		実績値					
計算 根拠	市職員との意見交換会5人、日中友好協会との意見交換会5人、田舎交流 対応5人	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
日中外国語大学と地域住民との交流会開催数	回	目標値	3	3	3		
		実績値	3	3	3		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
交流会参加者数	人	目標値	50	50	50		
		実績値	65	52	53		
計算 根拠		達成率	130	104	106		
		実数値					

ランク A A A

事業要員	正規職員	0.12
	臨時・嘱託	0
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	350	350	350	0
決算額	350	350	350	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	210	学生連携事業費	9,091	0	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	0

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input checked="" type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 **7 / 16**

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 **10 / 20**

ACTION

今年度 方向性⇒ **維持**

取組内容
提案型市民主役事業化制度に基づき、学生の行動力と発想力を活かした事業を実施する。令和元年度に収集したアンケートによると「学生団体withとの交流が少なかった」「日中友好協会の活動内容を聞きかたかった」などがある。これを踏まえて、地域交流の時間を見直し、若者間だけでなく、地域住民との日中友好の更なる向上を目指す。

前年度の実績
8月16日(金)から20日(火)までの4泊5日の日程で、北京大学等の中国人大学生8人と東京外国語大学の日本人大学生13人の合計21人の学生が鯖江市に滞在し、市職員や鯖江市日中友好協会、足羽高校生との交流を行うとともに、日本の伝統文化である浴衣を着て茶道体験を行うなど、日中友好の絆を構築した。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
令和2年度の実施に向けて今年1月から4月まで、京英会側と調整を行ったが、日本と中国の往来が制限されたことを受け、今年度は中止した。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
京英会側からは日本と中国の往来が可能となった場合には、日中友好の絆の構築に向けてぜひ実施したいとの意向を受けてはいるが、現在も渡航制限も続いている中、実施の可能性は先行き不透明であるとともに、新型コロナウイルスの感染リスクと費用対効果を踏まえ、令和2年度を持って事業を廃止する。

方向性⇒ **廃止・休止**

【提案型市民主役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	(中止)日中外国語大学と地域住民との「絆」交流促進事業
市民主役事業にかかる額(単位千円):	
来年度 事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	

今年度 事業名	高校生・大学生との学生連携事業	事業コード 3016
来年度 事業名	高校生・大学生との学生連携事業	

総合戦略 体系	211	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大 で多様性があるまち~	学生連携事業
------------	-----	----------------	-----------------------------------	--------

PLAN (計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	将来の鯖江市を担う地元の高校生や大学生が、住むだけのまちから何かをしたいと思えるまちへと意識の変化が芽生えることを目指すとともに、連携協定を結んでいる大学の学生等と連携して、鯖江市の認知度向上を図る。				
	概要	令和元年6月、鯖江商工会議所とともに相互連携協定を結んだ福井県立鯖江高等学校の取組みである「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」に基づき、授業への講師の派遣、紹介等の協力を行う。 また、連携協定を結んでいる大学の学生の受け入れや大学が開催しているホームカミングデー等の催事において、学生と一緒に本市の紹介および地場産業・地場産品のPR等を行う。				
	コロナ対応 の取組	(今年度)鯖江高等学校との連携事業については学校の休校に伴い、予定されていた事業内容の大部分を変更せざるを得なくなったが、学校が再開してからはオンラインを活用した探究学習への協力も行った。また、明治大学で例年行われてきたホームカミングデーはWebによる開催に変更され、道の駅西山公園に依頼し、出店を行った。(来年度)コロナ禍により、明治大学や鯖江高校とのオフラインでの連携は見通しがついていない状況であることから、明治大学のホームカミングデーや物産販売等の事業について、および鯖江高校の地域の人が講師となる講座等については、対面での実施ではなく、オンラインでの実施を検討する。その鯖江高校と明治大学をオンラインを活用して結びつけることも計画していく。				
法令 根拠		実施 形態	現在	市直営		
			内容			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック

活動指標		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
鯖江高等学校との連携協定にかかる連絡協議会開催	指標名	回	目標値				3	3
	実績値							
連携大学でのホームカミング等で、学生と協力して行う「めがねのまちさばえ」のPR活動	指標名	回	目標値				1	1
	実績値							
成果指標		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
明治大学ホームカミング等への来場者数	指標名	人	目標値				0	4000
	実績値							
計算 根拠	明治大学ホームカミングデー参加者数(鯖江市ブースのみの人数の掌握はできない) R1:機構改革に伴い、商工政策課所管分を除く。		達成率					
鯖江高等学校の地域連携プログラムに対するサポート件数	指標名	件	目標値				4	6
	実績値							
計算 根拠	1学期2件のサポート		達成率					
			実数値					

■ 通常期の指標

活動指標		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
鯖江高等学校との連携協定にかかる連絡協議会開催	指標名	回	目標値			3		
	実績値				3			
連携大学でのホームカミング等で、学生と協力して行う「めがねのまちさばえ」のPR活動	指標名	回	目標値		5	1		
	実績値			5	1			
成果指標		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
明治大学ホームカミング等への来場者数	指標名	人	目標値		1,000	4,000		
	実績値			1,000	4,120			
計算 根拠	明治大学ホームカミングデー参加者数(鯖江市ブースのみの人数の掌握はできない) R1:機構改革に伴い、商工政策課所管分を除く。		達成率		100	103		
鯖江高等学校の地域連携プログラムに対するサポート件数	指標名	件	目標値			6		
	実績値					6		
計算 根拠	1学期2件のサポート		達成率			100		
			実数値					

ランク A A

事業 要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク
B、Cの
理由

事業費	区分	2017	2018	2019	2020	タイプ	会計	一般会計
	予算額	127	1,000	123	301		事業タイプ	単独事業
	決算額	126	776	110			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	210	学生連携事業費	9,091	301
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	301

補助金等	No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

CHECK (評価)	①必要性 評価項目	法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい) <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい	②事務改善 評価項目	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
		行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき) <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5		今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 有効性 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
		住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5		今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを 確保する余地はないか。 有効性 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
		国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ		今以上に、成果を向上させる余地はないか。 有効性 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
		事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ		②事務改善 評価点数の合計 4 / 20
		①必要性 評価点数の合計 13 / 16		

ACTION	今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	取組内容	<p>鯖江高等学校との連携協定に基づき、「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」への積極的なサポートを行い、地域の関心を高め、鯖江型高校教育「オールSABAE」の構築に寄与する。</p> <p>また、明治大学の学生受入れおよびホームカミングデーにおいて、鯖江市のPRや魅力を情報発信する。</p> <p>加えて、他の高校や大学との連携を模索し、高校生や大学生の居場所づくりに努める。</p>
	来年度へ向けて	<p>R1年度は鯖江高等学校、鯖江商工会議所、鯖江市と初めて3者で協定を結び、連携事業を実施してきた。鯖江市としても学校の各授業で出前授業を行うなど、協力を行ってきたが、2月、3月に予定されていた授業はコロナウイルスの影響により、中止となった。</p> <p>明治大学のホームカミングデーは例年行われているが、4120人の来場があり、広く鯖江の特産品をPRすることができた。</p> <p>前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題</p> <p>出前授業を行う際には一般市民や市職員を講師として派遣するため、学校側と事前の打ち合わせを十分に行った上で、コロナ感染防止対策を十分に行う必要がある。</p> <p>R2年度はホームカミングデーをオンライン上で行うことで、道の駅西山公園が取り扱う鯖江市の商品をホームカミングデーホームページ上に掲載することになった。今後通常通り、現地でホームカミングデーが行われ、特産品の販売を行う際にはコロナの対策は必須になると思われる。</p> <p>実績と課題を踏まえた来年度の変更点</p> <p>コロナ感染対策を徹底するため、明治大学のホームカミングデーや鯖江高等学校の出前授業や全体講演等については、オンラインでの実施を検討する。また、鯖江高等学校の文部科学省所管の高校教育改革推進事業が最終年を迎えるにあたり、市としてより積極的な支援を行うため、鯖江高等学校と明治大学を繋ぎ、新たな連携事業としての実施を目指す。</p> <p>方向性⇒ <input type="text" value="事務改善"/></p>

【提案型市民役事業実施】	年度	2017	2018	2019	2020	2021	今年 事業名	<input type="text"/>
	取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	度	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text"/>
	実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	来年 事業名	<input type="text"/>
							度	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text"/>

取組可能な事業の詳細⇒

今年度事業名	鯖江市役所JK課プロジェクト事業	事業コード 3158
来年度事業名	鯖江市役所JK課プロジェクト事業	

総合戦略体系	252	若者が住みたいなるまちの創造	参加と協働による市民主役	(女子) 高校生のまちづくり参加の促進
--------	-----	----------------	--------------	---------------------

PLAN(計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	女性の高校卒業後の転出や地域離れは顕著になっており、おしつけることなく、女子高生自らが企画し、大人を巻き込みながら地域活動を実践することを通じ、若者や女性が進んで行政参加を図っていく新たなモデル都市となることを目指す。				
	概要	第1回「おとな版地域活性化プランコンテスト」で提案された企画を事業化。これまで市政に関しては「無関心層」と言われてきた女子高生が、まちづくりチーム(鯖江市役所JK課)を結成。女子高生が自由な環境下で大人を巻き込みながら活動することにより、予想外の化学反応が生まれるというコンセプトのもと、産官学連携の枠組みを活用し、女子高生の活動を市や関係者がバックアップしながら、ふるさとへの誇りを全ての世代で共有していく。				
	コロナ対応の取組	(今年度)会議の形態については、8月末まではオンラインでの実施は禁止し、9月以降は市内での感染状況を踏まえたうえで、らてんぼを利用するなど、ソーシャルディスタンスに配慮して開催する。ピカピカプラン等の従来の企画の実施については、市の方針に合わせて中止している。(来年度)新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、会議についてはオンラインでの実施を基本とする。JK課既存企画については、ピカピカプラン等の屋外で実施するものに限定するとともに、参加者を鯖江市民に制限するなど、ソーシャルディスタンスを意識した実施とする。				
法令根拠		実施形態	現在	民間等委託(一部)		
			内	市直営と民間委託(提案型市民主役事業:コード3681)での事業実施部分を分け、事業効果を向上させる。		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
活動日数	日	目標値				60	30
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
鯖江市役所JK課オリジナル企画開催数	企画	目標値				5	2
		実績値					
計算根拠 (例)ピカピカプラン、水鉄砲水やり等		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
活動日数	日	目標値	30	80	80		
		実績値	85	137	52		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
鯖江市役所JK課オリジナル企画開催数	企画	目標値	6	7	8		
		実績値	16	13	18		
計算根拠		達成率	266.7	185.7	225		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.3
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由	
---------------	--

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	1,181	1,556	1,300	866
決算額	1,181	1,556	667	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	210	学生連携事業費	9,091	866	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	866

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 11 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
効率性 今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 4 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ **事務改善**

取組内容
令和元年度までは市直営で全ての事業を担当していたが、令和2年度より提案型市民役事業として、JKOG課に一部運営を任せて実施することとする。JKOG課には、会議運営および自主企画の具現化等についてJK課の身近なサポート役となってもらい、JK課メンバー発案による新規の自主企画の具現化など、更なる推進を図る。なお、既存企画や外部からのオファー等の対応については、市が直営で行う。

前年度の実績
県内5つの高校(高専)から32人が参加し、年間52日集まり、地域の大人を巻き込みながら23イベントを実施した。これまでに実施してきたピカピカプランやJK課オリジナルスイーツ販売、つつじマラソン給水ボランティア、水鉄砲で芝生の水やりをはじめ、新規企画として、全国高校生まちづくりサミットの開催やSDGsLINEスタンプコラボを行った。
こうした活動が評価され、令和元年度においては第11回協働まちづくり表彰グランプリを受賞した。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
令和2年度からは、JKOG課に会議運営および新規自主企画の具現化等については、提案型市民役事業として委託しているが、JKOG課からはオンライン会議では高校生から意見がなかなか出にくいとの報告があった。当該事業は、既存企画の実施や外部からの依頼対応が業務となるが、同様に意見は出にくいと感じており、高校生の参加意欲の低下が危惧される。また、県立高校は6月から授業開始、福井高専は8月までオンライン授業ということもあり、1年生の参加募集ができていない状況である。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
JK課発足当初に取り組んだ図書館空席情報アプリ開発やゴミ拾い企画ピカピカプランなど、高校生自身が困っていることや疑問を解消するための施策提案を考えるといった視点で活動ができるよう、JKOG課と連携して原点回帰した活動を目指す。
なお、令和3年度からJK課プロジェクトは市民活躍課へ移管し、女性活躍の視点から実施する。

方向性⇒ **事務改善**

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):
来年度 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):

今年度事業名	地域おこし協力隊による地域活性化推進事業	事業コード	3354
来年度事業名	地域おこし協力隊による地域活性化推進事業		

総合戦略体系	231	若者が住みたくなるまちの創造	河和田キャンパス(創造産地)の構築	河和田地区への移住・定住促進
--------	-----	----------------	-------------------	----------------

PLAN(計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2016	終了年度	9999
	目的	鯖江市外の人材を活用し、地域の活性化に必要な施策を推進するとともに、鯖江市への定住および定着を促進する。				
	概要	鯖江市の東部に位置する河和田地区は、急激な人口減少と高齢化の傾向があり、河和田を取り巻く環境は年々厳しい状況となっている。そこで地域おこし協力隊が地域の方々と共に、さまざまなプロジェクトやイベントを企画運営しながら、眼鏡・漆器の地場産業の振興および「日本のふるさと」とも呼べる自然環境、歴史、文化、伝統を継承した河和田地区の活力再生、地域振興を図る取り組みを行う。				
	コロナ対応の取組	(今年度)地域おこし協力隊の1人は河和田アートキャンプの受入れを主軸とした活動を行っていたが、集団生活や県外からの学生受け入れに伴う新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されることから、河和田アートキャンプ事業が中止となり、主たる活動をECサイトの運営を通じた産地職人の支援にシフトした。(来年度)河和田アートキャンプを担う協力隊の活動については、コロナ禍も踏まえ、現役大学生を受入れる形での事業は廃止し、過去の参加学生と地域住民との交流を主とした新たな事業へと制度設計を行う。				
法令根拠		実施形態	現在	市直営		
			内	報償費1人@165,000×12月、活動費1人@2,000,000円/起業支援補助費1人@1,000,000 ■R2.10.28現在の地域おこし協力隊数:にぎわい推進室2名、建築宮繕課		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
プロジェクト提案数	件	目標値				4	4
		実績値					
計算根拠	地域おこし協力隊1人2件ずつ	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
プロジェクト提案数	件	目標値			6		
		実績値			10		
計算根拠	地域おこし協力隊1人2件ずつ	達成率			167		
		実数値					

ランク A

事業要員	正規職員	0.2
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由	
------------	--

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	7,960	16,920	11,940	8,009
決算額	7,880	16,588	11,940	

会計	一般会計
事業タイプ	補助(国)事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	51,105	8,009	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	8,009

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし〜5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし〜5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
①必要性 評価点数の合計	14 / 16	

②事務改善 評価項目

効 率 性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有 効 性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
②事務改善 評価点数の合計	10 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	地域おこし協力隊が地域のニーズに応えながら、地域の活性化に必要な施策に取り組めるよう、隊員と定期的にミーティングを行い情報を共有する。 地域おこし協力隊は、①ゆるい移住等の移住・定住支援②アートキャンプの実施の2名で活動する。
前年度の実績	令和元年度は3名の地域おこし協力隊により、①河和田アートキャンプの実施、②越前漆器のブランディング・新商品開発、③体験移住者の受入、移住定住支援や産地イベントRENEWの実行支援を行った。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 令和2年度は2名の地域おこし協力隊により、①河和田アートキャンプの実施、②ゆるい移住等の移住・定住支援の活動、産地イベントRENEWの実行支援を実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響により事業の中止・変更があり、それぞれ①ECサイトの運営を通じた産地職人の支援、②産地イベントRENEWの実行支援を主に活動している。今後も随時ミーティング等により情報共有を行うことで効果的な事業となるよう支援することが必要となる。 実績と課題を踏まえた来年度の変更点 地域おこし協力隊が担う業務について、整理統合を含めて見直しを行う。 ①河和田アートキャンプの事務局業務を担う協力隊については、コロナ禍も踏まえ、事業自体のあり方を変更し、現役大学生による長期滞在型のまちづくり活動を廃止し、これまでに参加したOB・OGと地域住民との交流を主軸とした新たな事業へと切り替えるため、令和3年度に新規事業の制度設計を主な業務の一つに組み入れる。 ②産地イベントRENEWの事務局業務と移住定住支援を担う協力隊については、本来の目的である眼鏡・漆器の地場産業の振興と移住定住推進の観点から、活動内容等を精査し、事務改善に努める。
	方向性⇒ <input type="text" value="事務改善"/>

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):
来年 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):

今年度事業名	街なか彩り推進事業	事業コード 3446
来年度事業名	街なか彩り推進事業	

総合戦略体系	411	安心で快適に暮らせるまちの創造	魅力あふれるまちなかの創造	中心市街地の活性化
--------	-----	-----------------	---------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2017	終了年度	2021
	目的	北陸新幹線県内延伸、東京オリンピック開催など観光客の増加が見込まれるなか、西山公園周辺や中心市街地エリアの街なかに彩りをもたらす景観向上を図り、西山公園から街なかへの誘客に繋げる。				
	概要	本町3、4丁目「歴史の道線」に設置した歩道上にある植栽樹および花壇に花の植栽や水やり等維持管理を委託する。				
	コロナ対応の取組	(今年度)(来年度)				
	法令根拠		実施形態	現在	民間等委託(全部)	
			内容	提案型市民主役事業にて実施		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
実施回数	回	目標値					
		実績値					
計算根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
※設定困難		目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
実施回数	回	目標値	2	2	2	2	2
		実績値	2	2	2		
計算根拠		達成率	100	100	100		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	
	臨時・嘱託	
	※所要時間	20

ランクB、Cの理由	
-----------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	250	250	250	250
決算額	250	250	250	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	205	街なか賑わいづくり振興事業費	7,926	250	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	250

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計
		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 15 / 16

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 7 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ 維持

取組内容 昨年度までの取組と今年度の進捗を評価し、提案型市民役事業の好例として挙げられる。以前は受託団体が独自で会費・負担金を募って環境美化活動を行っていたが、市の事業として採択されたことで、会員だけでなく周辺住民の理解と協力が得やすくなっており、さらに住民と協働で事業実施ができる企画を増やしていく。

来年度へ向けて 前年度の実績 業務委託のとおり、花の植え替えは春・秋の年2回実施し景観を保つことができたほか、剪定等の維持管理や花壇および周辺の清掃なども総合的に対応できている。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 令和1年から令和3年までの複数年提案を受けた「提案型市民役事業」であるが、毎年改善を行っており、課題は特にない。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点 令和3年度においては変更点はないが、複数年提案終了後の令和4年度に向けて、関連事業との整理統合を踏まえて事業の精査を行う。

方向性⇒ 維持

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	街なか彩り推進事業
度	市民役事業にかかる額(単位千円): 250
来年度 事業名	街なか彩り推進事業
度	市民役事業にかかる額(単位千円):

今年度事業名	めがねのまちさばえ応援商品開発支援事業	事業コード	3521
来年度事業名	めがねのまちさばえ応援商品開発支援事業		

総合戦略体系	121	魅力ある雇用の創出	既存産業の高度化	地域産業の活性化
--------	-----	-----------	----------	----------

PLAN(計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2018	終了年度	2021
	目的	北陸新幹線県内延伸にあたり、観光客の増加が見込まれるなか、めがねのまちさばえを応援し広くPRする新たな商品やパッケージ開発を支援することにより、魅力ある商品、売れる商品づくりを喚起する。				
	概要	鯖江市で1年以上、商業(卸売業、小売業)またはサービス業を主として営む中小企業者を対象とし、パッケージデザインには公式ロゴを入れることを必須とし、めがねのまちさばえをPRする趣旨に沿って企画提案されたパッケージについては審査の上、補助対象経費の1/2以内(上限15万円)を補助する。				
	コロナ対応の取組	(今年度)(来年度)				
法令根拠		実施形態	現在	補助金等交付		
			内容			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
事業を説明・広報する機会の創出	回	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
事業実施店舗数	件	目標値					
		実績値					
計算根拠		達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
事業を説明・広報する機会の創出	回	目標値		2	2	2	2
		実績値		2	2		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
事業実施店舗数	件	目標値		3	4	4	4
		実績値		3	3		
計算根拠		達成率		100	75		
		実数値					

ランク A C

事業要員	正規職員		ランクB、Cの理由 活動指標として挙げている「事業を説明・広報する機会」は目標達成したが、事業を実施予定であった事業者1社が申請を断念したため。
	臨時・嘱託		
	※所要時間	80	

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額		451	339	800
決算額		451	339	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	51,105	800	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	800

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 12 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
効率性 今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
有効性 今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 4 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ 維持

取組内容
平成30年度は菓子小売業で3件の実施、令和元年度も既に道の駅での土産用やふるさと納税の返礼品用など3件の事業申請がある。
「めがねのまちさばえ」の公式ロゴも市内の様々な用途で使用されており、引き続き事業者が企画している商品パッケージに採用してもらうことで、広報の相乗効果を図り、観光客に対して鯖江の魅力を発信していく。

前年度の実績
令和元年度は、道の駅での土産用やふるさと納税の返礼品用など3件の事業申請があり、事業の目的や主旨に特に合致したことで、多くの観光客や市外の方に鯖江の魅力を発信することができた。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
令和2年度もすでに2件の申請があるが、当該事業は3年目を迎えるため、更なる広報機会の創出が必要である。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
事業申請数が活動指標に達していないため、北陸新幹線県内延伸の影響を見据えて、特に観光関連業(観光業、宿泊業、土産品製造小売業)に事業内容を告知し、事業活用を促す。

方向性⇒ 維持

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):
来年度 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):

今年度 事業名	丹南地域周遊・滞在型観光推進事業	事業コード 3528
来年度 事業名	丹南地域周遊・滞在型観光推進事業	

総合戦略 体系	262	若者が住みたいなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	広域観光の推進
------------	-----	----------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	にぎわい推進室	開始年度	2018	終了年度	2022
	目的	北陸新幹線敦賀開業や冠山トンネルの開通時である令和4年に丹南5市町の観光客入込数約20%増を目指し、丹南地域の観光商品の開発、磨き上げと情報発信を展開し、点から線へへとつなぐことで周遊性を高めるとともに観光客の滞在時間延長と観光消費額の増大を図る。				
	概要	「丹南地域周遊滞在型観光推進計画」に基づき、令和4年度までのエリア内での統一した事業構築のために、コーディネーターの配置を行い、観光素材の掘り起こしや洗い出し、既存の観光資源をより一層磨きあげ、売れる観光商品づくりを行う。				
	コロナ対応 の取組	(今年度)(来年度)				
法令 根拠		実施 形態	現在 補助金等交付 内 丹南広域観光協議会内に丹南地域周遊・滞在型観光推進委員会を設置し、負担金を支出している。市も委員会に加わり事業に参加している。			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
丹南地域周遊・滞在型観光推進委員会の開催	回	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
観光客入込数	人	目標値					
		実績値					
		達成率					
計算 根拠			実績値				

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
丹南地域周遊・滞在型観光推進委員会の開催	回	目標値		3	3	3	3
		実績値		3	3		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
観光客入込数	人	目標値		1,750,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000
		実績値		1,886,032	1,770,632		
		達成率		107.8	98.4		
計算 根拠			実績値				

ランク A A

事業要員	正規職員	0.1
	臨時・嘱託	
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額		2,969	3,526	3,526
決算額		2,969	3,526	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	3	601	丹南広域観光協議会等負担金	6,083	3,526	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,526

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 **15 / 16**

②事務改善 評価項目

効率性	今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
有効性	今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 **16 / 20**

ACTION

今年度 方向性⇒ **維持**

取組内容
5カ年事業の3年目として、引き続き観光資源の掘り起こし・磨き上げを行い、商品を作成し、実証事業を行う。また、これまでにを行った実証事業、オンラインでのテスト販売の成果と反省を踏まえ、実際に販売する商品作成について検討し、ポータルサイトを構築するためのテストサイトを立ち上げる。二次交通、宿泊体制、シェアリングエコノミー、インバウンド、来訪者の受入体制を整備していくための方策についても専門部会等で引き続き検討する。

前年度の実績
5カ年事業の2年目として、前年度に掘り起こしを行った観光資源についてそれらの特性を活かした商品を作成し、実証事業を行って本格稼働に向けて展開するとともに、二次交通、宿泊体制、シェアエコ、インバウンド、来訪者の受入体制の整備するための方策を検討した。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
本事業の柱として検討していたポータルサイトの作成については、継続的な運営コストの負担と管理運営していく担い手の不在が課題となるため実施が困難であり、事業を方向転換する必要がある。ポータルサイトに代わる事業の柱として、事業者の困りごとを解決するため、デジタルコンテンツ集の作成など地域内の情報共有や案内機能の強化が図られる事業を検討する必要がある。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
令和3年度から事業終了までの2年間、本事業の事務局を館江市が担うことになる。ポータルサイトに代わる事業の検討が必要であるが、令和5年3月の北陸新幹線開業に向けて本事業を最大限効果的にするため他市町と連携して事業を進めていく。

方向性⇒ **維持**

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):
来年度 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):